

西暦 2026 年 06 月 08 日

期間に進行卵巣癌・卵管癌・腹膜癌の治療を受けた患者さんへ

【進行卵巣非漿液性癌における術前化学療法とインターバル腫瘍減量手術療法の有効性についての全国実態調査研究】に対するご協力をお願い

1. 研究の対象

2020年1月1日から2022年12月31日の期間に進行卵巣癌・卵管癌・腹膜癌の治療を受けた患者さん

2. 研究目的・方法・期間

上記の期間に当院にて進行卵巣癌・卵管癌・腹膜癌の治療を受けた患者さんを対象とし、術前化学療法とインターバル腫瘍減量手術療法の有効性を調べることを主な目的としております。診療録など、通常の診療で得られた既存の医療情報を用いて、治療内容や治療経過を後方視的に解析します。

研究の結果、特許権などの知的財産権が生じる可能性もございますが、データを使用させていただいた患者さんには帰属しません。

研究期間：研究実施許可日～2027年3月31日

この研究は、東海大学医学部専門診療学系産婦人科学が申請した倫理審査委員会にて審査及び承認され、病院長の許可を受けて実施するものです。また、松山赤十字病院の研究費で行っており、特定の企業・団体等から支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧することができますのでお申し出ください。

また、研究に関するご質問や相談等ありましたらお問合せください。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

診療記録、臨床検査データ（血液）、診断用画像（骨盤MRI、胸腹部部CT）結果、卵巣病理組織の結果を対象とします。

医療サービスの提供時に取得した試料・情報及び過去に研究を目的に取得した試料・情報を利用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、試料・情報を使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。

4. 外部への試料・情報の提供

これまでに行われた進行期卵巣癌の治療に関する診療記録、臨床検査データ（血液）、診断用画像（骨盤MRI、胸腹部部CT）結果、卵巣病理組織の結果を使用します。新たに行う検査や治療などはありません。

調査内容は以下の通りです。

調査項目

- ① (治療開始時の) 年齢と Performance Status
- ② 登録地域 (都道府県)
- ③ 術前化学療法・放射線治療の有無
- ④ 進行期分類 (FIGO 分類、pTNM 分類、ypTNM 分類)
- ⑤ 病理学的組織診断
- ⑥ 治療開始年月日
- ⑦ 治療法 (初回治療の内容: 外科手術と手術術式、薬物療法、放射線療法、維持療法等)
- ⑧ 治療後の健否 PDS 後、NACT/IDS 後の病態
- ⑨ 予後 (生存、病死、その他の死亡、担癌状態)
- ⑩ 最終生存確認年月日
- ⑪ 初回再発の有無、再発部位
- ⑫ 再発年月日
- ⑬ 初回治療: NACT 後の病態
- ⑭ 初回治療: NACT 開始前後の血清 CA125 の変化 (開始前、開始後 1 か月後、2 か月後、あれば 3 か月後の値 U/mL)
- ⑮ 初回治療: NACT 後の IDS の有無、無であれば IDS が施行されなかった理由
- ⑯ 初回維持療法: 維持療法の有無、分子標的薬の種類、投与開始日と終了日
- ⑰ 各施設ですでに施行された遺伝子プロファイル

日本産科婦人科学会事務所より研究責任者にダウンロード用の URL が送付されます。その URL から、研究責任者は登録症例に付与された情報をダウンロードし、受領します。また、ダウンロードには期限および回数の制限が設けられています。データの送信は SSL 暗号化通信で行われ、添付ファイルの一時保存は外部攻撃に備えた高いセキュリティのサーバー上で行われます。また、この研究は、多機関共同研究で実施し、主たる機関は東海大学専門診療学系産婦人科学でデータの解析を行います。共同研究者は、計画立案の支援、方法論・検証を行います。

5. 個人情報の取扱い

本研究で取り扱う患者さんの情報は個人情報をすべて削除し、第3者にはどなたのものか一切わからない形で研究実施機関へ提供され、使用します。患者さんの情報と個人情報を連結させることはありません。

6. 研究組織

研究代表機関

機関名	研究代表者	所属・職名
東海大学医学部専門診療学系	町田 弘子	産婦人科学 講師

研究機関

機関名	研究責任者	所属・職名
日本大学医学部附属板橋病院	川名 敬	産婦人科 部長
京都大学医学部附属病院	山ノ井 康二	総合周産期母子医療センター 講師

広島大学病院	山口 建	広島大学大学院医系科学研究科産科婦人科学教授
近畿大学医学部	松村 謙臣	産科婦人科学教室 主任教授
湘南鎌倉総合病院	吉田浩	産婦人科 主任部長
順天堂大学医学部附属浦安病院	氏平 崇文	産婦人科 准教授
札幌医科大学	齋藤豪	産婦人科学講座 教授
東京科学大学病院	若菜公雄	周産・女性診療科 講師
西埼玉中央病院	岩橋 秀樹	産婦人科 医師
京都府立医科大学附属北部医療センター	山下 優	産婦人科 医長
東北大学	重田 昌吾	医学系研究科婦人科学分野 准教授
北海道大学病院	渡利 英道	婦人科 教授
四国がんセンター	竹原 和宏	婦人科 手術部長
神奈川県立がんセンター	佐治 晴哉	婦人科 部長
順天堂大学医学部附属順天堂医院	寺尾 泰久	産婦人科 主任教授
藤田医科大学岡崎医療センター	鳥居 裕	婦人科 講師
藤田医科大学医学部	西澤 春紀	産婦人科学講座 教授
北里大学医学部	加藤一喜	産婦人科学婦人科 教授
小田原市立病院	丸山康世	産婦人科 科部長
筑波大学附属病院	佐藤 豊実	産科・婦人科 教授
横浜州市市民病院	石寺 由美	産婦人科 担当部長
自治医科大学	高橋詳史	産科婦人科学講座 講師
済生会長崎病院	藤下 晃	産婦人科 主任診療部長
国立がん研究センター 中央病院	石川光也	婦人腫瘍科 科長
大阪公立大学大学院医学研究科	福田 武史	女性病態医学・准教授
埼玉医科大学総合医療センター	長井 智則	産婦人科 教授
横浜労災病院	松永竜也	産婦人科 部長
三重大学	近藤英司	産科婦人科・教授
徳島大学	乾 宏彰	産科婦人科・講師
東京医科大学病院	森田 吉洋	産婦人科 講師
神奈川県警友会けいゆう病院	荒瀬 透	産婦人科 部長
名古屋市立大学病院	西川 隆太郎	産科婦人科学 助教
山口大学医学部附属病院	末岡幸太郎	産婦人科 准教授
京都市立病院	小芝明美	産婦人科 部長
弘前大学大学院医学研究科	水沼 楨人	大館・北秋田地域医療推進学講座 助教
慶應義塾大学医学部	山上 亘	婦人科・教授
産業医科大学	栗田 智子	産科婦人科学 准教授
滋賀医科大学医学部附属病院	米岡 完	女性診療科 助教

国立病院機構横浜医療センター	最上 多恵	産婦人科部長
信州大学医学部附属病院	宮本 強	産科婦人科・教授
大和市長病院	上田 麗子	産婦人科 医長
さいたま赤十字病院	岡本修平	産婦人科 副部長
愛知県がんセンター	北見 和久	婦人科部 医長
岐阜県立多治見病院	森 正彦	産婦人科 腫瘍部長
山形大学	永瀬 智	医学部産科婦人科学講座・教授
町田市民病院	駒崎裕美	産婦人科担当部長・周産期センター長
宮城県立がんセンター	永井 智之	婦人科 医療部長
戸田中央総合病院	長嶋武雄	婦人科 部長
関西ろうさい病院	高田 友美	産婦人科 部長
金沢医科大学	柴田 健雄	医学部産婦人科学 講師
帝京大学	長阪一憲	医学部産婦人科学講座 主任教授
大阪大学大学院医学研究科	清水 亜麻	産科婦人科学教室 助教
香川大学医学部	田中 圭紀	母子科学講座周産期学婦人科学 助教
安城更生病院	鈴木崇弘	産婦人科 産婦人科代表部長
愛媛大学医学部附属病院	森本 明美	産婦人科 助教
杏林大学医学部附属杉並病院	鈴木 淳	産婦人科 臨床教授
大阪市長総合医療センター	市村友季	婦人科 部長
松山赤十字病院	栗原 秀一	産婦人科 部長
高槻病院	飯塚 徳昭	診療部 産婦人科 医長
杏林大学医学部	森定 徹	
国立がん研究センター東病院	田部 宏	婦人科 科長
東京都立多摩総合医療センター	中村 浩敬	産婦人科 医長
群馬大学大学院医学系研究科	平川 隆史	産科婦人科講座 准教授
堺市長総合医療センター	木瀬 康人	産婦人科 部長
岩手医科大学附属病院	馬場 長	産婦人科産婦人科 教授
鳥取大学医学部	佐藤 慎也	産婦人科 講師
がん・感染症センター都立駒込病院	喜納 奈緒	婦人科 部長
東京女子医科大学病院	本橋 卓	産婦人科 講師
佐々木研究所附属杏雲堂病院	馬屋原健司	婦人科 部長
奈良県総合医療センター	谷口真紀子	産婦人科 副部長
日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院	坂田 純	産婦人科 医長

7. お問い合わせ先

今回の試料・情報の利用について同意をいただけない場合には、いつでも構いません

ので下記までご連絡ください。その場合でも今後の治療などに影響することはありません。

日本赤十字社 松山赤十字病院 産婦人科 職名医師

研究責任者：栗原 秀一

TEL：089-924-1111(代) FAX：089-922-6892(代)